

# 京都府市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名：宮津市

## 1. 平成28年度 市町村体制づくりの取組について【総括表】

計画の概要等	背景	近年、団塊世代が本格的な高齢者の仲間入りをする中、社会保障関連の基盤の整備、税収の落ち込みへの対応は急務となっている。また、数年後には公共施設の更新期限が迫っており、今のうちから公共施設の長寿命化、計画的な修繕の実施による更新時期が集中しないように分散させるなど、ストックマネジメントが大きな課題となっている。		
	必要性	今後、市税の大幅な増収が見込めない中、持続的・安定的・効率的な行財政運営を行うためには、限られた財源で住民満足の最大化を図るため、真に必要な市民サービスの一層の向上を図るとともに、事務執行のさらなる効率化や的確で計画的な施設維持管理等による経費削減をはじめとした行財政改革を引き続き徹底して行うとともに、将来にわたり持続可能な、足腰の強い行財政基盤を構築していく必要がある。		
	概要	財政再建計画2011(平成23年度～平成27年度)が完了し、財政健全化に一定の成果を挙げたものの、予断を許さない状況であることから、本年も引き続き各改革の手を緩めることなく断行するとともに、近隣市町との連携を図りながら効率的な行財政運営を進めていく。		
	効果	本計画により、事務執行の一層の効率化を図るとともに、施設の長寿命化対策をはじめとする様々な行革の取組を一層推進することにより、財政負担を軽減し、持続的、安定的な財政運営の構築を図る。		
事業実施による効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値(出来高数値等)	事業効果(単位:人・千円等)
小規模市町村支援	公共空間等長寿命化推進事業	公共施設マネジメントにより施設の存続も検討する中、当面の間存続させる施設等について、長寿命化及び環境負荷の低減を図った。	各施設の改修、設備更新 16,612千円	5か年計画の本年度分で 32,766千円の削減効果
	市道等長寿命化事業	道路構造、都市下水路等の維持及び長寿命化のための補修工事を実施	市道等の維持修繕 28,921千円	市道等の全面改修と比較し、 43,178千円の削減効果
	ごみ・し尿処理施設等長寿命化推進事業	清掃工場及びし尿処理施設の計画的な設備更新及び修繕	設備更新及び修繕 113,489千円	必要最低限の計画的修繕により、 100,511千円の削減効果
広域連携事業支援	丹後地域魅力向上事業	広域的な連携を可能とする組織を構築し、各種の課題解決に向けた事業を実施するほか、各市町の特産品等の都心部でのPRを連携して実施	広域情報の発信等 430千円	市単独実施と比較し、 3,320千円の削減効果

(記載要領)

- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 「主な実績数値(出来高数値等)」、「事業効果」については、出来るかぎり数値化した客観的な指標を記載すること。

京都市市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

宮津市

2. 平成28年度 京都市市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について  
【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目							
小規模市町村支援		公共空間等長寿命化推進事業							
事業着手前									
課題・現状	平成24年度に環境マネジメントシステム(KES)を取得し、環境に優しい市庁舎づくりに努めている。公園施設、学校施設をはじめとした公共施設においては老朽化が進み、特に公園遊具等の安全対策は喫緊の課題となっている。市営住宅においても修繕等が実施できていないものがあり、新たな入居者の受入の際にはこれを行う必要がある。人口減少が大きな課題となっている本市では、重点戦略として人口減少に歯止めをかける「定住促進戦略」を掲げており、これら各種施設の老朽化は住環境の魅力低下につながり、早急に対応が必要である。								
事業概要	前年度より公共施設マネジメントへの着手も行っており、今後は施設の存廃も含めたあり方等を検討していくこととなるが、当面の間、継続させる必要のある施設等について、長寿命化、環境負荷の低減に取り組んでいくもの。								
期待される事業効果等	後年度の財政出動の抑制効果を図るとともに、住環境等の向上により定住人口の増加を期待する。								
事業実績									
取組状況	・市庁舎修繕 ・保育所施設修繕 ・公園施設設備等の更新、修繕 ・市営住宅の住環境向上 ・小中学校改修工事、修繕								
主な実績数値 (出来高数値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市庁舎の修繕 : 外壁改修等 3,650千円</li> <li>・保育所施設の修繕 : 砂場日よけ修繕等 763千円</li> <li>・公園施設設備等の更新 : ブランコ更新 778千円</li> <li>・市営住宅の住環境向上 : 小規模修繕 1,347千円</li> <li>・小中学校の修繕 : ガス配管修繕等 1,502千円</li> </ul>								
期待される事業効果等 に対する達成状況	◎	(左の理由)		後年度の財政出動の抑制効果を得ることができ、かつ住環境等の向上を図ることができたため。					
事業効果									
事業効果の考え方	施設の長寿命化により更新時期を延長させた施設・設備の更新経費と当該年度投下の修繕等経費との差額。 (試算:市営住宅…更新10年延長、その他施設…当面大規模修繕不用) また、快適な住環境の維持にもつながり、定住促進効果にも期待。								
年度	H26	H27	H28	H29	H30				5か年計
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	34,446	39,506	40,806	41,606	40,406				196,770
本事業の実績額(b)	29,002	16,613	8,040	23,708	21,794				99,157
効果(a)-(b)	5,444	22,893	32,766	17,898	18,612				97,613

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。

京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

宮津市

2. 平成28年度 京都市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について  
【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目							
小規模市町村支援		市道等長寿命化事業							
事業着手前									
課題・現状	市民生活の重要な基盤である市道、河川について、劣化による危険箇所が見受けられ、地域の安心安全確保のための修繕が必要な状況である。 都市下水路についても排水不良の著しい箇所があり、大雨時の浸水被害及び地域住民の避難の妨げの恐れもある。								
事業概要	道路構造、都市下水路等の維持(排水機場合む)、長寿命化のための補修工事を実施するとともに、地元住民による修繕活動を支援。 ・市道等のスポット的な改修の実施 ・地域からの要望への対応(生活に密着した必要性の高い市道等の改修)								
期待される事業効果等	順次必要箇所の舗装工事により指導全体の長寿命化と経費の節減を図るとともに、地域住民の安心安全に資することができる。								
事業実績									
取組状況	・市道維持修繕 ・都市下水路維持修繕 ・河川維持修繕 ・排水機場整備工事								
主な実績数値 (出来高数値等)	・市道等維持修繕 : 舗装、水路工、小規模修繕 等 計50箇所 25,697千円 ・都市下水維持修繕 : 水路工、浚渫 等 計12箇所 15,692千円 ・河川維持修繕 : 小規模修繕 計8箇所 2,258千円 ・排水機場整備工事 : 整備工事 計2箇所 10,575千円								
期待される事業効果等 に対する達成状況	◎	(左の理由)	順次必要箇所の舗装工事により市道全体の長寿命化と経費の節減を図るとともに、地域住民の安心安全に資することができたため。						
事業効果									
事業効果の考え方	市道等の全面改修に要する経費とスポット的な改修実施や地元の活動支援に要した費用との差額。 また、安心安全なまちづくりに資する。								
年度	H28								
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	97,400								
本事業の実績額(b)	54,222								
効果(a)-(b)	43,178								

(記載要領)

1 事業毎に調書を作成すること

2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。

京都市市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

宮津市

2. 平成28年度 京都市市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について  
【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目			
小規模市町村支援		ごみ・し尿処理施設等長寿命化推進事業			
事業着手前					
課題・現状	<p>し尿処理施設については昭和39年、ごみ処理施設については平成4年、不燃物処理場については平成11年の設置となっており、いずれの施設も当初想定期限を過ぎており、更新までの間の機能維持を図るための対策が必要。</p> <p>し尿処理施設については、1市2町で「宮津与謝新し尿処理のあり方研究会」を設置し、早急に施設の整備方針を決定したところであるが、整備までの間、現在のし尿処理施設の運用を続ける必要がある。</p> <p>ごみ処理施設については、1市2町で事務組合を設置して建設に向けて調整を行っており、建設までの期間、現在のごみ処理施設の運用を続けなければならない。(H30末稼働予定)</p> <p>不燃物処理施設については、周辺地域の環境に配慮の上で、現行施設の延長(~平成35年)について了承を得たところ。</p>				
事業概要	ごみ・し尿処理施設等の長寿命化を図るための計画的(更新までの必要最低限のものに限定)な修繕・保守の実施。				
期待される事業効果等	<p>いずれの施設も、更新を行うまでの必要なものに限定した改修等に対応するものとして、経費削減を行うもの。</p> <p>また、財政負担面でも、各種施設設備全体の更新時期等を勘案しながら必要個所の修繕対応を行うことで費用負担の平準化を図る。</p>				
事業実績					
取組状況	<p>・清掃工場等の設備保守、更新等</p> <p>・し尿処理施設の設備更新等</p>				
主な実績数値 (出来高数値等)	<p>・清掃工場等の設備保守、更新等 : 保守点検(清掃工場)、 54,540千円</p> <p>・し尿処理施設の設備更新等 : 設備更新 15,358千円</p>				
期待される事業効果等 に対する達成状況	◎	(左の理由)	各種施設の更新時期等を勘案しながら、必要個所の修繕対応を行うことで費用負担の平準化を図ることができたため		
事業効果					
事業効果の考え方	毎年対応する各施設の改修経費(設備更新経費を含む)と建設予定期間までの必要最低限の計画的な修繕を行った場合との差額。				
年度	H28				
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	170,409				
本事業の実績額(b)	69,898				
効果(a)-(b)	100,511				

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。

京都市市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

宮津市

2. 平成28年度 京都市市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について  
【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目							
広域連携事業支援		丹後地域魅力向上事業							
事業着手前									
課題・現状	住民起点のまちの未来づくりを進めるために、広域で市町村が連携することが必要であり、特に文化交流、魅力・情報発信の取組では広域的な取組が効果的かつ効率的である。 また、環境保全の取組も市町単独のものではなく、地域全体の課題である。 丹後2市2町においては、互いに広域的に取り組むべき課題等を出し合っ、その解決にあたっているところ。								
事業概要	広域的な連携を可能とする組織を構築し、各種の課題解決に向けた事業を実施するほか、各市町の特産品等の都心部でのPRを連携して実施する。								
期待される事業効果等	広域的に連携して事業を実施していくことで、住民起点による文化・芸術による交流が進むとともに、まちづくりの推進にもつなげることができる。 広域的な情報発信を行うことで、それぞれの魅力がまとまりを持って、相乗効果的に発信できるとともに、コスト面等においても効果的に事業実施を行うことができる。								
事業実績									
取組状況	・丹後の豊かな環境づくり推進会議 ・特産品ショップ ホツと丹後								
主な実績数値 (出来高数値等)	・丹後の豊かな環境づくり推進会議 150千円(宮津市負担分) (環境学習ツアー、丹後環境シンポジウム、エコ体験ツアー など) ・特産品ショップ ホツと丹後 280千円(宮津市負担分) (京都市内サテライトショップによる特産品販売、商品情報の発信 など)								
期待される事業効果等 に対する達成状況	◎	(左の理由)	広域連携により事業を行うで、単独事業と比較し効率的な事業実施ができたため						
事業効果									
事業効果の考え方	総事業費と本市における事業費(負担金等)との差額								
年度	H28								
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	3,750								
本事業の実績額(b)	430								
効果(a)-(b)	3,320								

(記載要領)

1 事業毎に調書を作成すること

2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。